

第2次郡上市総合計画実施に向けて（シリーズ第2回）

郡上市は、今年度から10年間のまちづくりの指針となる第2次総合計画を策定しました。今後、10年間の基本構想並びに前期5年間（平成28～32年度）の基本計画に基づく様々な取り組みを推進します。そこで、市民のみなさんに取り組み内容を知っていただくため、前期基本計画に掲げる具体的な取り組みについてシリーズで紹介していきます。第2回目となる今回は、市長公室と総務部の主な取り組みについてお知らせします。

市長公室の取り組み



■ 地域産業の核となる観光・交流産業の活性化を図ります

◆**取り組みの方向性**…アウトドアスポーツが盛んなこの郡上の地で、インストラクター等の養成スクールなどを検討する中で、自然体験型交流産業の確立を目指します。

【主な取り組み】

●インストラクター等養成スクール準備事業

アウトドアインストラクター等を養成するスクールの開設を検討するとともに、新たに移住希望者向けに生業づくりや地域での活躍の場づくりを行うなど、「郡上暮らし」を自らの力で切り拓いていくための総合的な支援の仕組みを確立します。併せて、市内で活動する地域おこし協力隊のプラットフォームとしての機能も備え、任期後の定住を目指した相互支援の場とします。

■ 効果的な整備と適切な維持管理により社会基盤の充実を図ります

◆**取り組みの方向性**…需要に合わせた情報通信基盤の整備を行い、市内における情報格差の是正を図ります。また、情報通信産業の創出や情報通信機器等の活用をめざす起業家を中心に、本拠から離れた場所に設置する事務所の誘致、起業家の移住に取り組みます。

【主な取り組み】

●テレワークの推進

市への情報通信技術者の移住促進及び情報通信産業雇用創出のため「モデル・テレワーク・ハウス」を情報発信拠点とし、本拠から離れた場所に設置する事務所の誘致、起業家の移住、インターネットを利用した新しい働き方を提案します。



八幡町小野（モデル・テレワーク・ハウス）

●光高速回線整備の検討

光高速通信回線について、利用者が要望するサービス水準が高くなってきていることもあり、早急に方向性を出します。

■ 結婚から出産、子育てへの切れ目のない支援を充実します

◆**取り組みの方向性**…結婚を希望する市民の出会いの場づくりや結婚相談の充実など、心のこもった結婚支援の推進を図ります。

【主な取り組み】

●婚活イベントの開催支援

「田舎でしか出来ない婚活プロジェクト」などの年代に応じた婚活イベントの開催や、市内企業や団体が連携して実施する婚活イベントの開催を支援します。

●婚活サポートの機能強化

マリアーजू郡上での相談事業をはじめ、地域の独身者を世話焼きする応援団の設置や市域を越えたお見合いの支援に取り組みます。

■ 交流・連携によるまちづくりを推進します

◆**取り組みの方向性**…人口減少社会の中で、活気のある地域を継続するため、これからの郡上を支える人たちが、移住したい人の琴線に触れるような郡上の魅力を発信するとともに、ニーズに合った支援を行い移住・定住を推進します。

【主な取り組み】

●交流・移住の推進

郡上市交流・移住推進協議会に業務を委託し、移住人口の増加と定住促進を図るため、移住相談窓口の開設や、大都市圏における移住相談会の開催などを広域的に行うとともに季刊誌の発行やインターネットを活用した情報発信等を積極的に行います。

●郡上に帰ろう！応援事業

Uターン者の増加及び三世帯同居の促進を図るため、一定の要件を満たす人を対象に、住宅の取得・増改築リフォームに係る費用の一部を補助します。また、新たに郡上市に居住される人で、市外へ通勤される人を対象に、通勤費の一部を補助します。

総務部の取り組み



■暮らしの中の安全・安心を守ります

◆**取り組みの方向性**…いつ起こるかわからない災害に対応できるよう、市の防災体制と消防力の強化、地域の防災力の向上のための支援を行います。また、増加している空家等の対策、防犯灯などのLED化に取り組み、安心して暮らせるまちづくりを推進します。

【主な取り組み】

●防災情報等の伝達手段の整備

現在、各戸に設置してある音声告知端末の保守期間が平成30年に終了するため、これに代わる機器として、停電時でも対応できる防災行政無線による戸別受信機を設置します（八幡町の一部以外が対象地域となります）。あわせて、屋外子局の増設や、スピーカーの一部を長距離伝達スピーカーへ変更するなど、防災情報等の伝達手段の一層の充実を図ります。



●自主防災組織の強化のための支援

近年、大地震が発生したり、台風や予測不能なゲリラ豪雨が増加し、その被害も大規模化しています。このような状況に各地域としても対応できるよう、自治会などを単位とする自主防災組織に対し、防災研修会の開催や、防災資機材の購入補助、市民のみなさんに防災士の資格を取得していただくための補助を行い、「自助・共助に基づく地域防災力」を強化するための支援を行います。



●空家等の対策

人口の減少などに伴い空家が増加しており、その中で適切な管理がされていない空家が、防災や環境の面で悪影響を及ぼすようになっています。このため、自治会のご協力による空家全般の実態調査の結果を基に空家等対策計画を策定し、危険な状態や衛生上問題のある空家の解消に向けた取り組みを行うとともに、活用できる空家や空店舗の活用推進など、総合的な対策を進めます。

●防犯灯・街路灯のLED化

夜間における犯罪や事故を防止するため、地区の防犯灯の新設、また、照度や耐久性に優れ、電気料も節減できるLED照明への切り替えのための補助を行います。なお、市が管理している街路灯も順次LED化を図り、防犯と生活安全の向上を図ります。

■成果を重視する効率的かつ効果的な行財政運営を図ります

◆**取り組みの方向性**…普通交付税の段階的縮減が始まり、依然として厳しい財政状況の中、財源減少に対応しながら身の丈に合った行政運営を進めるとともに、公共施設等に振り向けられる財政負担の平準化や真に必要な施設の整備を進めることで、インフラ基盤を含めた適正な管理を実施します。



【主な取り組み】

●中期財政計画に基づく市債の計画的な発行

歳入の約4割を占める普通交付税について、合併算定替特例措置の段階的縮減期間を迎えており、平成31年度までに大幅な減額が見込まれます。また、借入金の返済額の大きさを財政規模に対する割合で表した実質公債費比率が、平成26年度は15.0%であり、公債費負担が依然高い水準にあるため、引き続き中期財政計画を作成し、計画的に市債を発行しながら、身の丈にあった健全な財政運営を進めます。

●斎場の整備

旧町村毎に整備された7斎場について、施設の適正な運営管理と施設維持経費の軽減を図るため、北部の拠点となる（仮称）郡上市北部斎場を白鳥斎場と同じ場所に整備します。今年度から取り壊しに着手し、平成29年度の完成を目指します。将来は、南部と北部2施設での効率的な運営を図ります。



※完成イメージ

（仮称）郡上市北部斎場